平成30年度決算がまとまりました

高齢者医療制度への納付金が一時的に減少

平成30年度決算案などを審議するCNCグループ健康保険組合の組合会が7月29日に開催され、収入支出決算案などの議案が全会一致で承認されました。

一般勘定の収入総額は6億9944万6千円、支出総額は5億2364万8千円、収入支出差引額で1億7579万8千円の残金を計上することができました。また、単年度の財政状況を示す経常収支でも、経常収入合計は6億8669万円、経常支出合計は5億9411万4千円、経常収支差引額は1億7727万6千円の黒字になりました。

平成29年度決算は1億3147万円の黒字でしたが、平成30年度は納付金のうち前期高齢者納付金が過去分の概算納付額と確定納付額の清算により減額・返還されたことが寄与し、黒字幅が拡大しました。ただし、今回の納付金の減少は一時的なものであり、今後はまた納付金が一気に増加することが見込まれるなど、健康保険組合を取り巻く財政環境は再び厳しさを増すものと予測されます。

平成30年度 一般勘定

収入

保険料率は前年と同率の100分の88で、保険料収入は前年度から5295万円減の6億4295万2千円、調整保険料収入9855万5千円、財政調整事業交付金が290万1千円、雑収入は前述の納付金の返還額を含め43448万2千円を計上しました。その他の収入を含めた収入総額は6億9944万6千円と、前年度から8574万6千円の減少となりました。

平成30年度収入支出決算の概要

一般勘定

決算基礎

●被保険者数	2,104人	●平均年齢	28.75歳
●平均標準報酬月額	267,973円	●保険料率	88／1000

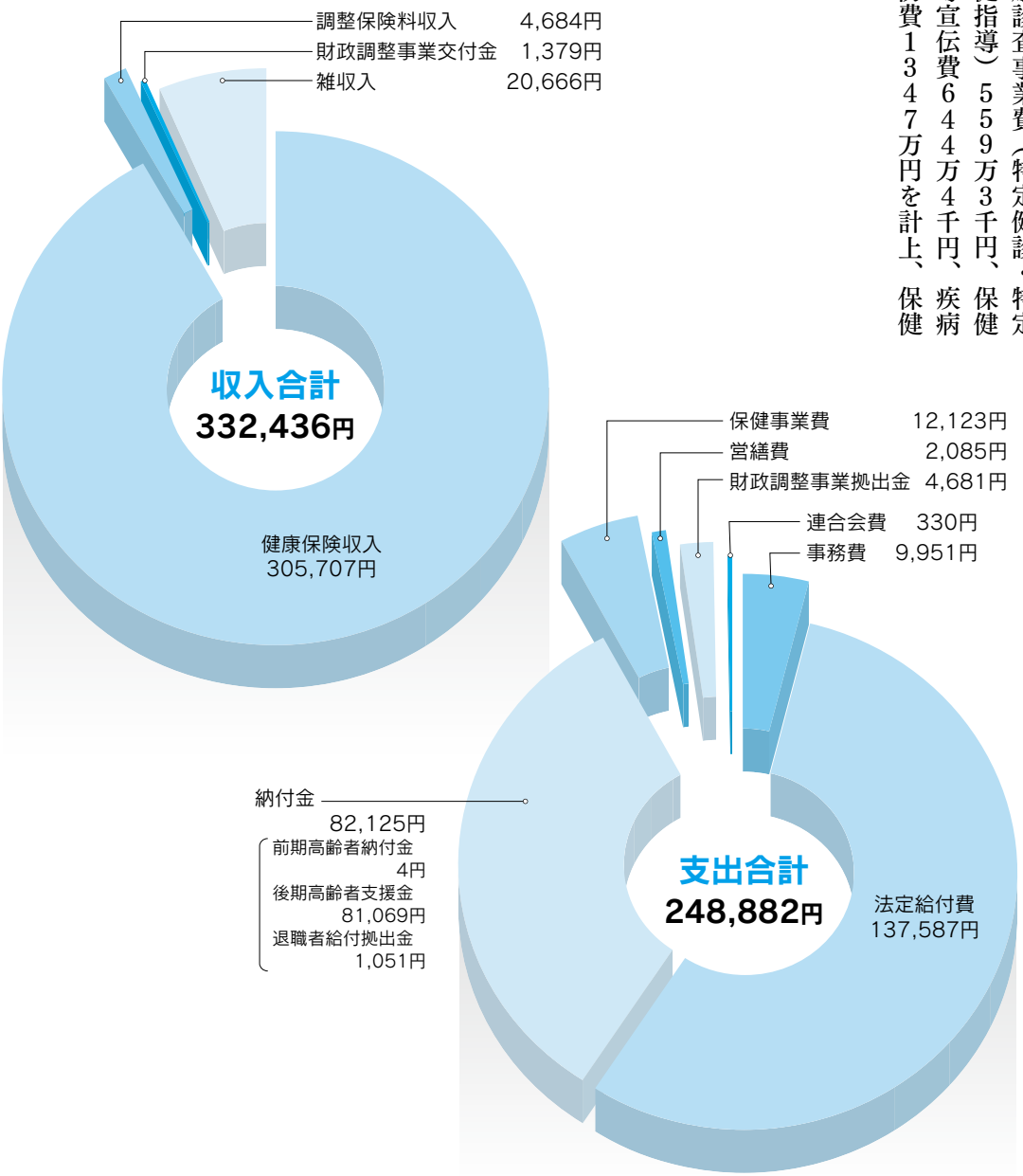
収入

科目		決算額(千円)
健康保険収入	保険料	642,952
	国庫負担金	256
調整保険料収入		9,855
財政調整事業交付金		2,901
雑収入		43,482
合計		699,446

支出

科目			決算額(千円)
事務費			20,937
保険給付費	法定給付費	本人	168,196
		家族	104,301
		高齢者	1,181
		高額療養費	15,806
納付金	前期高齢者納付金		9
	後期高齢者支援金		170,570
	病床転換支援金		1
	退職者給付拠出金		2,212
保健事業費	特定健康診査事業費		5,509
	特定保健指導事業費		84
	保健指導宣伝費		6,444
	疾病予防費		13,470
営繕費			4,386
財政調整事業拠出金			9,848
連合会費			694
合計			523,648

被保険者１人当たり収支



支出

事務費２０９３万７千円、保険給付費（法定給付費）全体で２億８９４８万４千円、高齢者医療制度にかかわる納付金等が１億７２７９万２千円、保健事業費は特定健康診査事業費（特定健診・特定保健指導）５５９万３千円、保健指導宣伝費６４４万４千円、疾病予防費１３４７万円を計上、保健事業費全体で２５５０万７千円、その他の支出を含めた支出総額は５億２３６４万８千円と、前年度から５２６７万４千円の減少となりました。

平成30年度収入支出決算の概要

介護勘定

決算基礎

- ●第2号被保険者数　本人　145人　家族　54人
- ●平均標準報酬月額　332,912円
- ●介護保険料率　20／1000

	科目	決算額(千円)	1人当たり額(円)
収入	介護保険収入	13,453	92,779
	繰入金	1,000	6,897
	国庫補助金	168	1,159
	雑収入	1	7
	合計	**14,622**	**100,841**
支出	介護納付金	13,395	92,379
	合計	**13,395**	**92,379**

介護勘定

保険料率は前年と同率の１０００分の20で、介護保険収入は１３４５万３千円、準備金からの繰入金１００万円、一方、支出は介護納付金が前年度から１６０万６千円増の１３３９万５千円となりました。介護勘定の収入支出差引額は１２２万７千円となっています。